

単元名 4 状況の中で ―[推敲]論理の展開を整える

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 「具体と抽象」, 「事実と意見」, 「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組むことができる。
 (2) 課題に沿って文章を推敲し, 論理の展開を捉えることができる。
 (3) 目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ, 情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとする。

標準的な展開例

12210204_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 論理の展開や内容に関わる点に着目して, 意見がより明確に伝わる文章になるように推敲する。</p> <p>○ 本時の学習の見通しをもち, 学習課題をつかむ。</p> <p>★ 論理の展開に着目し, 意見がより明確に伝わる文章になるように推敲しよう。</p> <p>○ 推敲の際, 注意すべきポイントを振り返る。</p> <p>○ 教科書 (p. 116) 上段の文章を通読し, 下段の課題に取り組む。</p> <p>① 事実と考えに分ける ② 二つの段落に分ける ③ 省いた方がよい一文を考える ④ 3段落を書き改める</p> <p>○ 推敲した文をグループで確認し合う。</p> <p>○ 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リード文 (p. 116) を読ませることで, 学習の全体像を把握させる。 ・ 第2学年の時に推敲の学習で学んだ, 言葉の使い方や表記などのポイントを再確認させる ・ 必要に応じて, 校正記号を確認させてもよい 校正記号については「知多の友」や第1学年の教科書参照。 ・ ①については, 文末表現に注目させる。 ・ ②については, 一つの段落には一つの話題という考え方で分けさせるとともに, 「一つ目」「二つ目」というナンバリングにも気付かせたい。 ・ ③については, なぜその一文を省いた方がよいのかという理由まで考えさせ, 具体例として適切かどうか吟味させたい。 ・ ④については, 上達のポイント (p. 116) で双括型について確認し, 1段落の主張をまとめ直させる。 ・ 「具体と抽象」, 「事実と意見」, 「意見と抽象」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組ませるとよい。 ・ 【評】文章を推敲する活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・ ④の文章は互いに読み合わせ, よく書けているものを発表させる。その際, 根拠と主張が関連付けられているものを全体に共有させたい。 ・ これから文章を書くときに気を付けることをノートにまとめさせる。 ・ 今回学んだことを, 今後の生活で生かしていくことの意義を確認する。 ・ 【評】学習を振り返る活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

中学校の最終学年にふさわしく, 厳しい状況下に置かれた人間の姿を読み取り, 読み深めていきたい。表現の工夫に注意して読んでいく中で, 人物や作者の心情だけでなく, 彼らがそのように感じ, 考えた時代背景にも目を向けさせたい。そうした人間と社会との普遍的な関わりについて考えを深め, 自分なりの意見をもたせたい。「故郷」は, 道徳のD- (22) 「よりよく生きる喜び」に当たる。